

平成二十一年五月十五日提出
質問第四〇五号

豊川海軍工廠跡地に関する質問主意書

提出者 鈴木克昌

豊川海軍工廠跡地に関する質問主意書

豊川海軍工廠は一九三九年、約二百ヘクタールの地に我が国で五番目の海軍工廠として開廠され、その後戦争の拡大とともに発展した。しかし、一九四五年八月七日の空襲により、豊川海軍工廠は壊滅した。その後同工廠は再建されることなく終戦を迎え、一〇月五日に廃止された。現在、その跡地は陸上自衛隊豊川駐屯地、日本車輛製造豊川製作所、コニカミノルタ瑞穂サイト、豊川市役所、国立名古屋大学などになっている。

特に名古屋大学キャンパス内には、海軍工廠の建物等も現存しており、当時の歴史等を知る上で貴重な遺産が残されている。

こうした点を踏まえて、豊川海軍工廠跡地について以下質問する。

一 名古屋大学キャンパス内にある豊川海軍工廠の当時の建物等が現存している跡地の現在の所有権者は誰か。

二 豊川海軍工廠の当時の建物等が現存している跡地について、現在どのように使用されているか。

三 同跡地について、今後の利用計画はあるか。あるとすれば、どのような利用計画か。

また、跡地利用について検討したことはあるか。あるとすれば、検討の内容はどのようなものか。

四 同跡地を「平和公園」（仮称）として利用してはどうかとの市民の声があることについて、どのように考えているか。

右質問する。